

教授 **加藤 陽子** (戸籍名は野島陽子) KATO, Yoko

<http://www4.ocn.ne.jp/~aninoji/>

1. 略歴

- 1983年3月 東京大学文学部国史学専修課程卒業 (文学士)
- 1985年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了 (国史学)
- 1989年3月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学 (国史学)
- 1989年4月 山梨大学教育学部専任講師 (日本史学)
- 1991年4月 山梨大学教育学部助教授 (日本史学)
- 1992年12月 文部省在外研究員として、スタンフォード大学東アジアコレクション、ハーバード大学ライシャワーセンター研究員
- 1994年4月 東京大学文学部助教授 (日本史学)
- 1995年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授 (日本史学)
- 1997年2月 博士 (文学) 取得
- 2009年4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授 (日本史学)

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本近代史

b 研究課題

1930年代の日本の政治と外交

c 主要業績

(1) 著書

- 共著、加藤陽子、メトロポリタン史学会編『20世紀の戦争』、有志舎、2012.7
- 共著、加藤陽子、増田弘編著『大日本帝国の崩壊と引揚・復員』、慶應義塾大学出版会、2012.11
- 共著、加藤陽子、三宅正樹・庄司潤一郎ほか編『検証 太平洋戦争とその戦略 3 日本と連合国の戦略比較』、中央公論新社、2013.8
- 共著、加藤陽子「第1次世界大戦中の「戦後」構想—講和準備委員会と幣原喜重郎—」、劉傑・川島真編『対立と共存の歴史認識』東京大学出版会、2013.8
- 共著、加藤陽子、明石康編『日本の立ち位置を考える』、岩波書店、2013.9

(2) 学会発表

- 国際、YOKO KATO、"Recent Developments in Research on Fascism in Japan"、8th International Convention of Asian Scholars、2013.6
- 国際、加藤陽子、「軍事史研究から見た日中戦争—興亜院の歴史的位置づけをめぐって」、第二次世界大戦背景下的中日戦争 中日戦争国際共同研究第五次会議、中華人民共和国重慶市、2013.9.15

(3) 小論・解説

「回顧と展望／歴史理論」(二〇一二年の歴史学界)、『史学雑誌』第122編第5号、2013.5、pp.6-10

(4) 講演

「近代の戦争と田中正造」、田中正造没後100年記念行事、第41回渡良瀬川鉾毒シンポジウム、2013.8、於佐野市

3. 主な社会活動

(1) 学会

史学会編集委員、日本歴史学会評議員

(2) 行政

- 内閣府、公文書管理委員会委員
- 公文書管理委員会、不服審査分科会委員
- 内閣府、国立公文書館の機能・施設の在り方等に関する検討会議